

■ 安田さんのクラスでは、興味を持ったことについて自分で調べ、発表することになりました。次は、安田さんが興味を持ったことと、発表するために書いた原稿です。【安田さんが興味を持ったこと】と【安田さんが書いた発表原稿】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【安田さんが興味を持ったこと】

自動車整備士になる方法

【安田さんが書いた発表原稿】

僕は、小さいころから車が大好きで、特に、車の構造を見たり、車が走る仕組みについて考えたりすることがとても好きです。だから、将来は車に関わる仕事がしたいと思っていました。最近では、自動車整備士になりたいと考えるようになりました。そこで、今回は自動車整備士になる方法について調べてみました。

方法について説明する前に、①簡単に自動車整備士がどのような仕事をするのか、お話しします。自動車整備士は、自動車が故障したり事故を起こしたりするのを防ぐために、自動車に不具合がないかを確認し、必要に応じて整備や修理をします。だから、自動車整備士は、②安全に自動車に乗るためにとても大切な仕事です。

では、自動車整備士になる方法を説明します。自動車整備士になるには、必ず資格を取る必要があります。それには、主に二つの方法があるそうです。

一つ目は、高校を卒業してから自動車整備の専門学校に行き、資格を取る方法です。専門学校を卒業すると、一般に二級自動車整備士の受験資格が得③られます。合格後、自動車整備工場などで実務経験を積んで、さらに上の資格を習得することができます。

二つ目は、高校を卒業してからすぐに自動車整備工場に就職して、実務経験を積んでから資格を取る方法です。実務経験を1年以上積みめば三級の受験資格が得られます。その後3年以上積みめば二級の受験資格が得られるそうです。それらに合格して、資格が取得できます。

父の知り合いに自動車整備士をしている川野さんという方がいるので、今回話を④聞いてきました。川野さんは、「人の命に関わる仕事なので、責任がとても重い仕事なんだよ。でも、欠陥^{けつかん}を発見して事故を未然に防ぐことができた時などは、とてもやりがいを感じるんだ。」とおっしゃっていました。

川野さんは、「」ともおっしゃっていました。僕も、早く自分で車の内部に触れるような技術と知識を身につけたいです。

一 安田さんは、【安田さんが書いた発表原稿】の——線部①の部分で、次のように書き直しました。その意図として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

自動車整備士がどのような仕事をするのか、簡単にお話しします。

1 指示する言葉と指示される言葉を近づけて、何を指しているのかを明確にした。

2 並立の関係にある文節を近づけて、対等の関係であることを明確にした。

3 修飾・被修飾の関係にある文節を近づけて、何を詳しく説明しているかを明確にした。

4 主語と述語を近づけて、「何が」「どうした」の関係を明確にした。

3

二 【安田さんが書いた発表原稿】の——線部②「安全」の対義語を、漢字二字で書きなさい。

危険

三 【安田さんが書いた発表原稿】の——線部③「られ」と意味が同じ「られ」を含むものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 将来が案じられる。

2 なかなか寝られない。

3 メモを勝手に捨てられた。

4 先生が部屋に入ってこられた。

2

四 【安田さんが書いた発表原稿】の——線部③の部分「聞いて」を、ひらがな五字の正しい敬語表現を用いて直しなさい。ただし、「おききして」以外を答えること。

うかがって

五 安田さんは、【安田さんが書いた発表原稿】の——の部分に、次の二つの内容をまとめて入れようと考えています。

- ・日々進歩している車の技術
- ・大切なのは車に興味を持ち続けること

この二つの内容をうまくつなげるように考えて、適切な形で入れなさい。ただし、次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。

条件1 一つにまとめて書くこと。

条件2 二十字以上、四十字以内で書きなさい。

条件3 原稿用紙の使い方に従って書くこと。

例

車の技術は日々進歩しているのだ。	車の技術は日々進歩しているのだ。
車に興味を持ち続けることが大切だ。	車に興味を持ち続けることが大切だ。